

路線バスの車内に早速掲示される
生徒制作のポスター



書き損じはがき回収協力を

教育環境に恵まれないアジアの子どもたちを支援しようと、室蘭市高砂町の海星学院高校（堺俊光校長）が、書き損じたり、未使用のはがきなどの回収に取り組んでいる。支援の輪を広げようと生徒が制作した募集を呼び掛ける最新のポスターが完成し、室蘭市内を走る路線バスの車内で掲示が始まった。

日本ユネスコ協会連盟（東京）が展開する「世界寺子屋運動」に基づき毎年活動している。はがきは切手に交換し、学校設備や図書・学用品、教材などに役立てられている。2018年度（平成30年度）は2244枚を集めた。活動を始めた11年度からの累計では4万5273枚になる。

室蘭・海星高生
制作ポスター
道南バス
車内掲示

ポスターはA3判。生徒の有志20人がパソコンのプレゼンテーション用ソフトを駆使して1点ずつ制作した。あるポスターは、同連盟から提供された、先生に見守られながら黒板でチョークを握り問題を解く男の子の写真を使い「教育を受けたい子どもたちのためにあなたの力が必要です」とメッセージを入れた。

代表の生徒2人が19日の放課後、道南バス東営業所（室蘭市東町）を訪ね、同社の担当者に「よろしくお願いします」とポスター一式を手渡した。ポスターは市内線・郊外線のバスに順次、掲示される。このほか室蘭、登別市内の大型店など約10カ所にも同様に配った。（野村英史）